

成蹊教養カリキュラム：学修・教育目標（科目グループ別カリキュラム・フロー）

学生が自らの観察力を研ぎ澄まして、自然界や社会の複雑な事象を解き明かす力を身につけるといえるのは、旧制高等学校の時代から受け継がれてきた成蹊教育の原点です。そうした伝統を現代風にアレンジした「成蹊教養カリキュラム」は、言語力や情報力をはじめとする「ジェネリックスキル（汎用的技能：技法知）」と、アカデミックな思考力を高める「学問知」、市民社会を担うための「市民知」とをバランスよく育てていきます。特に、持続社会探究という科目区分では、サステナビリティ教育研究センターと連携の上で、持続可能な社会を担う人材の養成を目指しています。

「成蹊教養カリキュラム」は、「外国語」「技能」「教養基礎」「持続社会探究」の四つの科目群から成り立っています。「外国語」と「技能」に関しては体系的かつ段階的に学ぶために基礎的で重要な科目を「コア科目（必修科目あるいは選択必修科目）」とし、これを基に学修をさらに深めるために選択する「発展科目（もしくは選択科目）」から構成されています（「健康・スポーツ科目」を除く）。「教養基礎」「持続社会探究」については数ある科目から自由に選ぶことができます。必修（または選択必修）の科目は英語のみで、それ以外は、各自の関心に応じて組み合わせてカスタマイズできることが成蹊大学の教養教育の特徴です。

成蹊教養カリキュラム 各科目のねらい (◎：必須、○：科目により含まれる)

区 分		技法知	学問知	市民知
外国語	英語科目	◎		
	初修外国語科目	◎		
技能	日本語力科目	◎		
	キャリア教育科目	◎		
	情報基盤科目	◎		
	健康・スポーツ科目	◎	○	
教養基礎	人文学		◎	
	社会科学		◎	○
	自然科学		◎	
持続社会探究	環境・地域		○	◎
	国際理解		◎	◎
	人権・共生		○	◎
	実践	◎		◎

科目グループ別カリキュラム・フロー

凡例：
必修科目 (卒業までに必ず修得しなければならない)
登録必須科目 (一度は履修登録する必要はあるが、単位の修得は義務付けていない)
選択科目 (個々の意思に基づき履修ができる)
 注：科目名の○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

A 外国語 英語科目・初修外国語科目
 英語および英語以外の外国語を学び、国際理解能力の養成に向けて実践的スキルを身につけます。

科 目 グループ	科目グループの 学修・教育目標
必修	社会で使える英語が身についている（英語で短いスピーチができる。英語で議論ができる。英文を読み、それを要約し、また、自分の意見を書くことができる）。
選択必修	
英語科目 資格試験	TOEFL、TOEIC、IELTSの各試験で所定のスコアを獲得する。
	英語力強化科目 英語の文法、発音、読解を確実に理解・身につけるとともに、自分なりの英語学習の手法を身につける。
	スキル強化科目 コア科目で修得した英語力を発展させ、社会で使える十分な英語力を身につける。
	英語発展科目 一定の英語力のある学生（目安としてTOEIC550点以上相当）向けとして、reading、writing、speaking、listeningの4技能の力をさらに伸ばす。
Advanced English	

1年次 配当科目・単位数		2年次 配当科目・単位数		3年次 配当科目・単位数	
第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第5ターム	第6ターム以降
College English (Listening & Speaking) I (1)	College English (Listening & Speaking) II (1)				
College English (Reading & Writing) I (1)	College English (Reading & Writing) II (1)				
Intensive English I (1)	Intensive English II (1)	College English (Integrated Skills) I (1)	College English (Integrated Skills) II (1)	※EAGLE生以外	
TOEFL Preparation Introduction① TOEFL Preparation Intermediate① TOEIC Preparation Introduction① TOEIC Preparation Intermediate① IELTS Preparation Introduction① IELTS Preparation Intermediate①					
基礎からのコミュニケーション英文法② 自分でデザインする英語学習② 英語発音トレーニング② 英語読解トレーニング②					
Presentation Skills Basic② Discussion Skills Basic② Writing Skills (Paragraph)② Presentation Skills Intermediate② Discussion Skills Intermediate② Writing Skills (Essay)②					
多読で学ぶ英語と文化 I ② 多読で学ぶ英語と文化 II ② 映画で学ぶ英語と文化② ドラマで学ぶ英語と文化② 歌で学ぶ英語と文化② メディアで学ぶ英語と文化② キャリアのための英語と文化②					
TOEFL Preparation Advanced I ① IELTS Preparation Advanced I ① TOEIC Preparation Advanced① TOEFL Preparation Advanced II ① IELTS Preparation Advanced II ①					
Media English② Academic Listening② Cross Cultural Communication Skills② Discussion & Presentation② English for the Workplace② Essay Writing② Intensive Reading② World Englishes②					

科目グループ

科目グループの学修・教育目標

1年次 配当科目・単位数
第1ターム 第2ターム

2年次 配当科目・単位数
第3ターム 第4ターム

3年次 配当科目・単位数
第5ターム 第6ターム以降

初 修 外 国 語 科 目	コ ア	<ul style="list-style-type: none"> 各言語の基本的構造をおおよそ理解している。 基礎的な会話ができる。
	発展A群	入門程度から段階的に初級～中級～上級までの会話能力を養成する。
	発展B群	コア科目で修得した知識を発展させ、より高度な文法理解、会話能力を身につけている。
	発展C群	段階的に初級～中級～上級レベルの検定試験の受験ができる語学力を養成する。
	発展D群	コア科目、発展A～C群の学修により身につけた言語運用能力をもとにプレゼンテーションができる力を養成する。
E群	各言語の初歩的知識を修得している。	

ドイツ語基礎A I ①	ドイツ語基礎B I ①	フランス語基礎A I ①	フランス語基礎B I ①	スペイン語基礎A I ①	スペイン語基礎B I ①
中国語基礎A I ①	中国語基礎B I ①	韓国語基礎A I ①	韓国語基礎B I ①		
	ドイツ語基礎A II ①	ドイツ語基礎B II ①	フランス語基礎A II ①	フランス語基礎B II ①	スペイン語基礎A II ①
	中国語基礎A II ①	中国語基礎B II ①	韓国語基礎A II ①	韓国語基礎B II ①	スペイン語基礎B II ①

ドイツ語演習コミュニケーションI ②	ドイツ語演習コミュニケーションII ②	フランス語演習コミュニケーションI ②	フランス語演習コミュニケーションII ②
スペイン語演習コミュニケーションI ②	スペイン語演習コミュニケーションII ②		
中国語演習コミュニケーションI ②	中国語演習コミュニケーションII ②	韓国語演習コミュニケーションI ②	韓国語演習コミュニケーションII ②

ドイツ語演習コミュニケーションIII ②	ドイツ語演習コミュニケーションIV ②
ドイツ語演習コミュニケーションV ②	
フランス語演習コミュニケーションIII ②	フランス語演習コミュニケーションIV ②
フランス語演習コミュニケーションV ②	
スペイン語演習コミュニケーションIII ②	スペイン語演習コミュニケーションIV ②
スペイン語演習コミュニケーションV ②	
中国語演習コミュニケーションIII ②	中国語演習コミュニケーションIV ②
中国語演習コミュニケーションV ②	
韓国語演習コミュニケーションIII ②	韓国語演習コミュニケーションIV ②
韓国語演習コミュニケーションV ②	

ドイツ語演習言語と文化I ②	ドイツ語演習言語と文化II ②	ドイツ語演習言語と文化III ②
ドイツ語演習言語と文化IV ②		
フランス語演習言語と文化I ②	フランス語演習言語と文化II ②	フランス語演習言語と文化III ②
フランス語演習言語と文化IV ②		
スペイン語演習言語と文化I ②	スペイン語演習言語と文化II ②	スペイン語演習言語と文化III ②
スペイン語演習言語と文化IV ②		
中国語演習言語と文化I ②	中国語演習言語と文化II ②	中国語演習言語と文化III ②
中国語演習言語と文化IV ②		
韓国語演習言語と文化I ②	韓国語演習言語と文化II ②	韓国語演習言語と文化III ②
韓国語演習言語と文化IV ②		

ドイツ語演習検定対策I ②	ドイツ語演習検定対策II ②	ドイツ語演習検定対策III ②
ドイツ語演習検定対策IV ②		
フランス語演習検定対策I ②	フランス語演習検定対策II ②	フランス語演習検定対策III ②
フランス語演習検定対策IV ②		
スペイン語演習検定対策I ②	スペイン語演習検定対策II ②	スペイン語演習検定対策III ②
スペイン語演習検定対策IV ②		
中国語演習検定対策I ②	中国語演習検定対策II ②	中国語演習検定対策III ②
中国語演習検定対策IV ②		
韓国語演習検定対策I ②	韓国語演習検定対策II ②	韓国語演習検定対策III ②
韓国語演習検定対策IV ②		

ドイツ語演習プレゼンテーションI ②	ドイツ語演習プレゼンテーションII ②
フランス語演習プレゼンテーションI ②	フランス語演習プレゼンテーションII ②
スペイン語演習プレゼンテーションI ②	スペイン語演習プレゼンテーションII ②
中国語演習プレゼンテーションI ②	中国語演習プレゼンテーションII ②
韓国語演習プレゼンテーションI ②	韓国語演習プレゼンテーションII ②

世界の言語①（ロシア語I・II、イタリア語I・II、タイ語I・II）

科目 グループ

科目グループの 学修・教育目標

1年次 配当科目・単位数	
第1ターム	第2ターム

2年次 配当科目・単位数	
第3ターム	第4ターム

3年次 配当科目・単位数	
第5ターム	第6ターム以降

B. 技能
社会人として必要となる、基本的な技能や考え方を身につけます。

技能	日本語力科	コア	読む・書く・話す・漢字の諸点にわたり、日本語力（日本語運用能力と日本語についての知識）をレベルアップさせる。	社会人にふさわしい日本語力を身につけている。
		発展		コア科目で修得した知識・技能を発展させ、より高度な日本語表現力・理解力を身につけている。
	キャリア教育科目	コア		進路選択に必要な基本知識及び情報収集の方法を修得している。
		発展	仕事や職業を通して自分が社会とどのようにかかわっていくかという意識（キャリア発達）を高める。	・キャリア構築の方向性を理解している。 ・組織で働くことの意味を理解し、社会的マナーやコミュニケーション力を身につけている。
	情報基盤科目	コア	社会で必要不可欠な情報の基礎知識の習得をはじめとして、コンピュータとネットワークの活用術、有益な情報を正しく獲得・発信する技術と正しい情報倫理を、実習を通して学ぶ。	・情報化社会の一員としての重要な情報倫理について理解している。 ・大学での学修や成果発表の手段として必要な情報基盤技術を修得している。
		発展		
	健康・スポーツ科目		健康・スポーツをテーマに身体運動を介して学修することで、次のような知識・技能・技術等を習得する。 ・自己の身体の把握とその向上・改善の知識や運動実践の習得 ・スポーツ・運動の意義 ・各種目における技術・技能の体得、戦術・戦略の理解と体得およびそれらの達成に向けたマネジメントの習得	・生涯にわたって、自らが豊かな生活を営めるよう、自己の身体の状態の把握や運動の実践を通して、健康を維持増進するための方法を理解している。 ・チームやグループワークのマネジメントをし、適切なコミュニケーションをとり、生涯スポーツ・運動をプロデュース、実践することができる。
			健康・スポーツの知識から教養を高める。	

実践日本語表現②	実践話し方入門②	日本語表現講義②	実践漢字講座②	語彙・読解講座②
古典に学ぶ日本語表現②	実用文書の作り方・情報の伝え方②	テーマ別日本語表現②		
キャリアプランニング②	ビジネストレーニングセミナー②	キャリアセミナー②	グローバルキャリアセミナー②	キャリア発展講義②
			日本企業の現状と展望②	インターンシップ準備講座②
				インターンシップ実習②
				発展インターンシップ準備講座②
				発展インターンシップ実習②
				理工系インターンシップ実習②
				Global Career Design②
情報基礎②	情報活用A②	情報活用B②	情報活用C②	情報活用D②
	Python入門②	データサイエンス入門②	情報活用E②	情報活用F②
健康・スポーツ演習A②	健康・スポーツ演習B②			
スポーツと科学②	スポーツと文化②	スポーツと社会②	健康と科学②	

C. 教養基礎
大学生、社会人として必要な人文学、社会科学、自然科学の3つの分野に関する教養の知識を身につけ、持続社会探究科目や所属学科の専門教育の学修につなげます。

教養基礎	人文学	哲学、倫理学、文学、芸術、心理学、教育学など、人間研究の基礎学としての人文学の基本的な知識と考え方を修得する。
	社会科学	政治学、経済学、社会学、法学などの社会科学の諸分野の基本的な知識、現代社会を理解するための歴史学的・地理学的な見方・考え方を修得する。
	自然科学	特定のトピックを通じて、自然科学的な見方・考え方を修得し、科学リテラシーを身につける。

哲学の基礎②	倫理学の基礎②	現代社会と哲学②	現代社会と倫理学②
文学への招待②	芸術への招待②	カルチュラル・スタディーズ②	
心理学の基礎②	自己理解の心理学②	教育原理②	教育心理学②
政治学の基礎②	経済学の基礎②	社会学と現代②	日本国憲法②
現代のマスメディア②	社会心理学入門②	企業と社会②	市民生活と法A②
		学校と社会②	市民生活と法B②
			近現代日本史A②
			近現代日本史B②
			現代社会の地理②
物質の究極像②	人間と進化②	脳科学と心②	天文学入門②
サイエンス・トピックス②	データサイエンスのための基礎数学②	A I 入門②	統計分析入門②
			薬はなぜ効くか②
			身の回りの科学②
			科学史②
			科学技術の発展と歴史②

D. 持続社会探究
文理融合的もしくは学際的な視点から、教養カリキュラムにおいて身につけた外国語、技能、教養の知識等を持続可能な未来の構築に向けた実践に生かせるようにします。

持続社会探究	環境・地域	地球の成り立ち、気象・気候、地質・地形、現代の経済社会の空間的側面などを理解しながら、持続可能な国土・環境利用や地域社会のあり方について考える。
	国際理解	異文化や国際政治・国際経済の仕組みを理解することを通じて、地球市民としての見方・考え方を身につける。
	人権・共生	人権・共生という観点から持続可能な社会を展望する力と、他人を思いやる豊かな心を身につける。
	実践	成蹊教育の伝統を基礎に、自己理解と他者理解、自地域理解と異文化理解をキーワードとした実践的な取り組みにより、持続可能な社会の担い手としての構想力を身につける。

地球と環境②	気象と地球環境②	自然環境と文明②	日本列島の歴史と災害②	日本の国土と社会②
外国の自然と社会A②	外国の自然と社会B②	地域づくり論②	環境科学トピックス②	
戦後の日本と世界②	近現代のアジアA②	近現代のアジアB②	近現代の欧米A②	近現代の欧米B②
中東地域史②	現代の国際政治②	グローバル経済論②	国際文化交流論②	異文化理解トピックス②
裁判と社会②	生命倫理と法②	地域福祉論②	人権とジェンダー②	こころの健康と臨床②
高齢者福祉論②	福祉社会に生きる②	特別支援教育概論②	共生社会トピックス②	
成蹊を知る②	情報保障とボランティア②	野外自然教育論②	地元学実践演習②	武蔵野地域研究②
大学生活と相互理解②	成蹊グローバルセミナーA②	成蹊グローバルセミナーB②	武蔵野地域連携セミナー②	
Global Studies Seminar I②	Global Studies Seminar II②	Global Studies Seminar III②		